

第48回

日本死の臨床研究会 年次大会



「アメユジュを求めて」型染絵 小田中 耕一 作

テーマ

“あめゆじゅ”を求め、
向き合い、そして支える

会場

盛岡市民文化ホール

会期

2025年
11月1日(土)・2日(日)

いわて県民情報交流センター「マリオス」
盛岡地域交流センター「アイーナ」

大
会
長

木村 祐輔

(岩手医科大学医学部緩和医療学科)

高屋敷 麻理子

(岩手県立大学看護学部成人看護学)

実行委員長

村上 雅彦

(岩手県立大船渡病院地域医療福祉連携室緩和医療科)

■演題募集期間:2025年4月4日～6月30日
■参加申込期間:2025年6月2日～11月2日

年次大会公式ホームページ



第48回 日本死の臨床研究会年次大会 《予定プログラム》

講演

- 「死を想い、いのちを生きる～患者の言霊から学んだこと～」
高宮 有介(昭和医科大学医学部 医学教育学講座)
- 「行ッテコハガラナクテモイヽトイヒ」
林 章敏(日野原記念ピースハウス病院)
- 「去りゆくものとの対話～いのちの終わりと向き合うための言葉～」
大坂 巍(医療法人社団真養会 きせがわ病院)
- 「多発する災害の中、しなやかに生きる力～求められるレジリエントな支援者～」
瀬藤 乃理子(兵庫県こころのケアセンター 研究部)
- 「CARE for CAREGIVER」～そのひとらしく、癒し癒される～
田村 祐樹(HITO病院 緩和ケア内科)
- 「スピリチュアルケアの最も基本的で本質的なこと」
小西 達也(武蔵野大学 教養教育部会)
- 「生存被爆者のスピリチュアルペイン」
—被爆二世のホスピス医が被爆後80年経ったいま気づいたこと—
川越 厚(在宅ホスピス研究所パリアン)

鼎談 〈向きあう〉ケアと〈支える〉ケア

—「あめゆじゅとてちてけんじゅ」と言わされたら—

- 石垣 靖子(北海道医療大学 名誉教授)
- 清水 哲郎(東北大学名誉教授、岩手保健医療大学 客員教授)
- 会田 薫子(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター)

災害特別企画 シンポジウム

- 八木 淳子(岩手医科大学 神経精神科学講座)
- 熊谷 優志(大船渡市国民健康保険歯科診療所)
- 吉武 淳(熊本大学病院がんセンター 緩和ケアセンター長)

市民公開講座「死の臨床におけるかなしみと祈り」

- 笹原 留似子(復元納棺師)
- 太田 宣承 (真宗大谷派碧祥寺 住職)